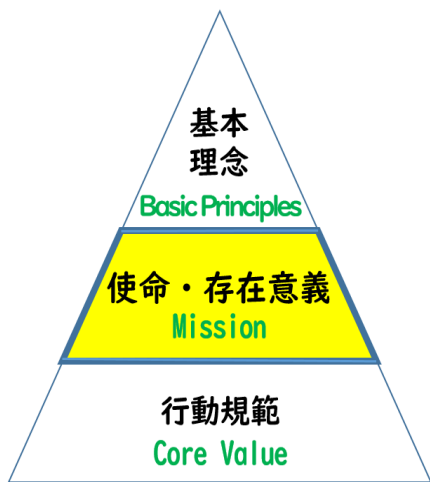


経営指針シリーズ③ 使命・存在意義



# Mission はお役に立つ

「使命（ミッション）」とは、組織が何を目的に事業を遂行しているのか、何のために社会に存在しているのかを表すものです。つまり、「なぜ、大分教育事務所がここにあるのか？」という存在意義でもあります。この存在は、我々がいくら必要だと言っても、現場から「市教委があるから無くていいのじゃない」「いろいろうさい所だ」と言われたり、「あそこは何をしているの」と、すでに存在すら感じられないようでは、そのうち行政改革で無くなってしまおうでしょう。

## 「なぜ、あなたはここにいるのですか？」

そんなこと言われても、教育人事課が決めたことだし・・・。

そうです。あなたは選ばれし者です。あなたのもっている資質、能力は素晴らしく、この大分教育事務所に必要なからここにいるのです。

そんな、私たちは偶然ここに集まりました。今、皆さんはとても真摯に、そして個性を生かしながら仕事を行っています。しかし、時に熱心さゆえに、同僚や関係機関と意見がぶつかり合うこともあるでしょう。

今のような混沌とした時代において、「これですべて解決」というような特効薬（絶対解）はありません。複雑な課題を丁寧に解きほぐして、相互的寛容と自制心をもって粘り強く対話し、関係者の「納得解」を得る地道な努力が必要です。これは新学習指導要領で子ども達にも必要とされている資質・能力でもあり、同時に民主政治やそれを支える社会の大事な土台ともなっています。（参考出典：合田哲夫 前文科省初等中等局財務課長）

市教委、学校、学校支援センター、地域・保護者の方々、本庁各課の皆さんから「大分教育事務所はありがたい存在」と思われるためにも、コミュニケーションを大切にしながら、共に成長する組織を目指しましょう。

一昨年度、「教育事務所の我々のミッションは？」と言うと、ある指導主事が、

『ミッション』は『クッション』です」といいました。

座布団2枚！ 私も皆さんのクッションになりたいです。



No.276：2020年11月 日出中

## 目線を揃える

わかったふりをしたり、一方的に教えただけでは解決はしない。お互いを尊重するから、真に学ぶ場となる。